

# CASBEE® 広島

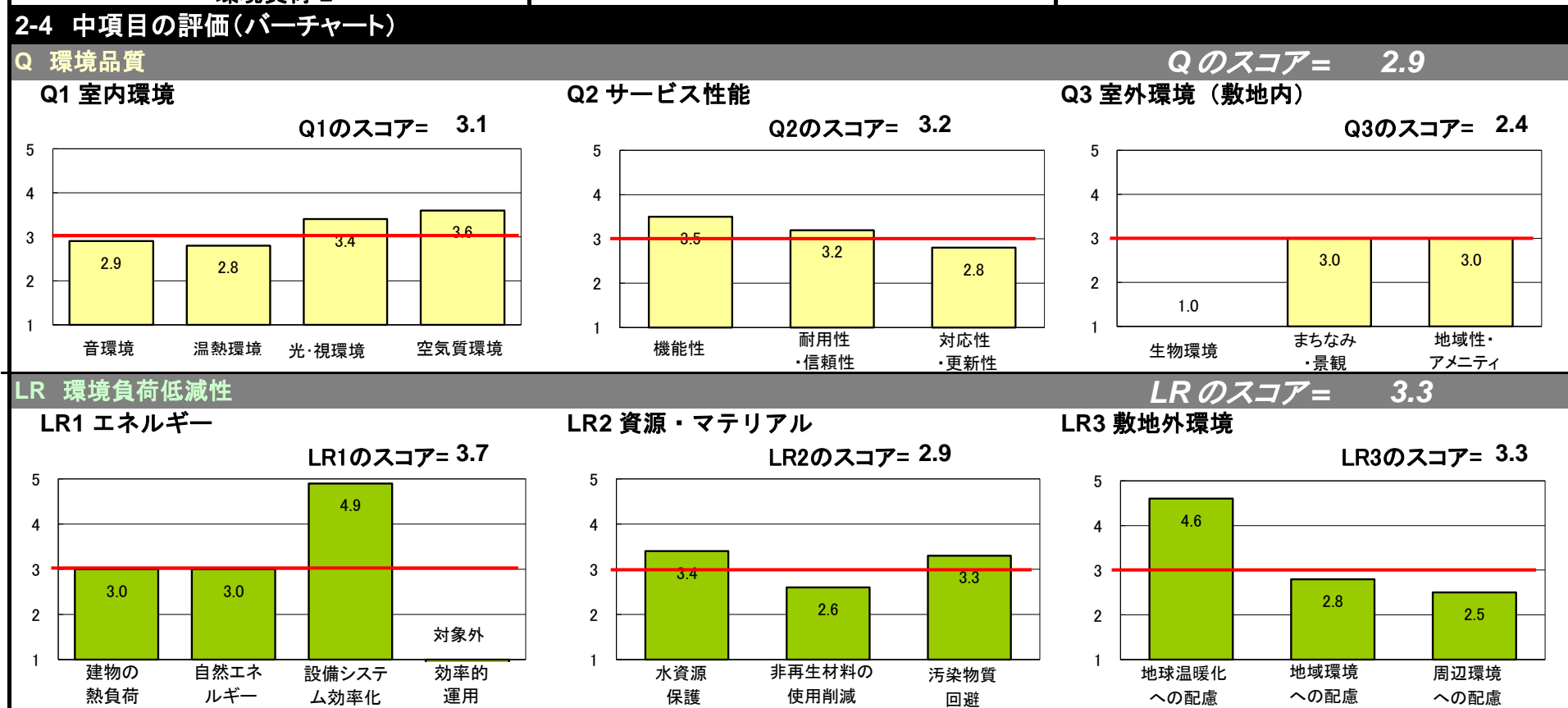
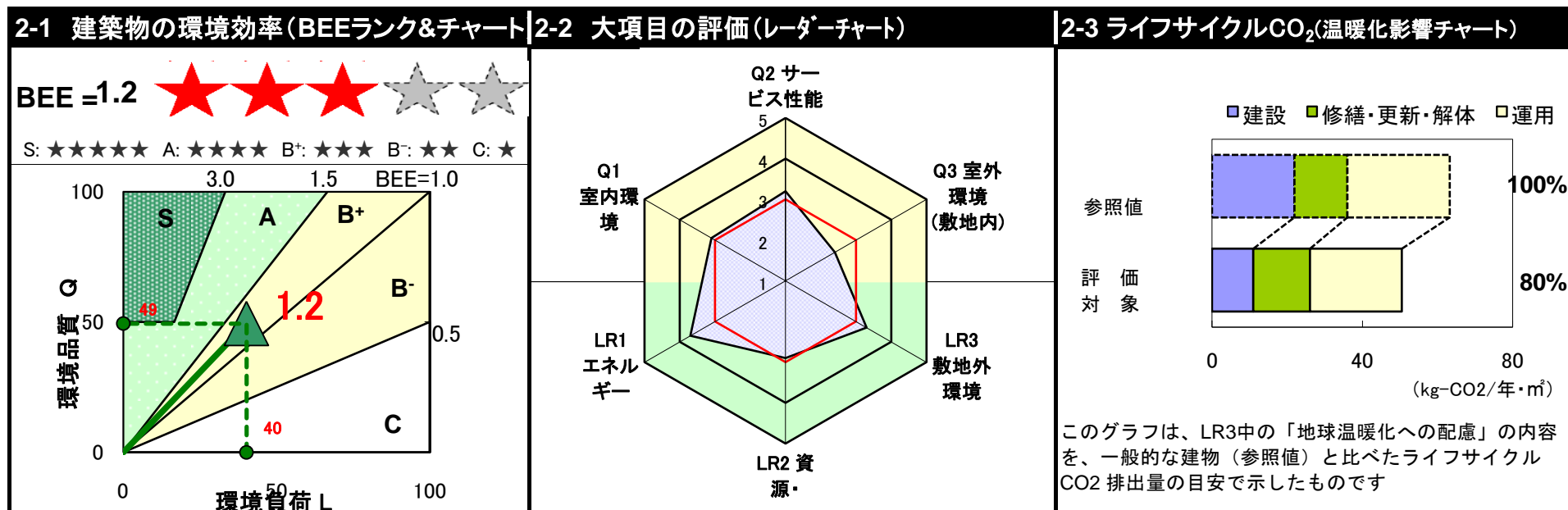
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

| 1-1 建物概要 |                          | 1-2 外観 |            |
|----------|--------------------------|--------|------------|
| 建物名称     | (仮称)アルファスマート観音新町         | 階数     | 地上9F       |
| 建設地      | 広島市西区観音新町1丁目4-1番、4-2番、5番 | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 準工業地域                    | 平均居住人員 | 180人       |
| 気候区分     | 地域区分IV                   | 年間使用時間 | 8,760時間/年  |
| 建物用途     | 集合住宅                     | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2012年11月 予定              | 評価の実施日 | 2011年8月30日 |
| 敷地面積     | 1,701 m <sup>2</sup>     | 作成者    | 山野正晴       |
| 建築面積     | 636 m <sup>2</sup>       | 確認日    |            |
| 延床面積     | 3,940 m <sup>2</sup>     | 確認者    |            |



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.1

| 「地球温暖化対策」の推進  | 「ヒートアイランド対策」の推進  | 「長寿命化対策」の推進  |
|---|--|--|
| スコア = 3.4   | スコア = 1.8  | スコア = 3.2  |
| <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>住宅性能省エネ等級3相当とした。自主基準で天井に熱橋補強を実施。/外皮に2方向面して、有効な採光・通風を確保。/共用部の照明点灯方式にタイマー制御・センサー点灯を採用。給湯器にエコキュートを採用。//極力節水用の給水栓を採用。杭コンクリートにリサイクル材(高炉セメント)を採用。/極力CO <sub>2</sub> の排出を削減した。 | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>オール電化により燃焼機器を無くし、大気汚染物質を排出させない。極力敷地内緑化に努めた。/離合が可能な車路幅を確保した。駐輪駐車スペースを確保するよう努めた。 | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>共用部内装仕上げ材は耐用年数が高いものを採用。/空配管内に配線・呼び線挿入することで、仕上材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るようにした。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される